

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	建築構造・設備実習 2	
科目基礎情報							
開設学科	建築設計科		コース名	建築構造・設備専攻		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	60時間
単位数	2単位					授業形態	実習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	構造：高見澤孝志　／　設備：藤原正城			実務経験の有無・職種	有・構造設計／設備設計　一級建築士		
学習目的							
この科目を受講する学生は、建築の【構造】分野と【設備】分野の考え方や能力が求められることを意識できるようになる。各自の興味や将来像の希望から建築構造・設備の専攻を選択し、構造設計に必要な基礎的な知識、設備設計の図面の描き方を通して、習得することがねらいである。							
到達目標							
【構造】　前期で作成した構造模型をもとにして、違う種類の構造図を作成することにより理解を深める。 【設備】　前期で学んだ建築設備図の基本知識を基に、異なる規模・用途の建築物の設備図を作成することにより理解を深める。							
教育方法等							
授業概要	【構造】　構造模型をもとにして自ら図面を作図する過程で構造図の図面表現を学ぶ。 構造材のサイズの決定の仕方を学ぶ。 【設備】　設備図を自ら制作することにより、問題点等をクリアし理解を深める。						
	【構造・設備】　(1) 毎回教科書、資料などを必ず持参すること。 (2) 製図道具、制作用の道具などを持参すること。 (3) 出欠状況は各自で管理すること。（手帳やノートに記録する。） (4) 授業時数の　3／4 以上　出席しない者は、不合格とする。						
評価方法	種別	割合	備　考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	成果発表 (口頭・実技)	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	出席状況	20%	段階的に学習しているものとして評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	【設備】給排水衛生設備			屋外給排水設備の設備図作成			
2回	【設備】給排水衛生設備			屋内給排水設備の設備図作成			
3回	【設備】電気設備			照明計画及び設備図作成			
4回	【設備】電気設備			コンセント計画及び設備図作成			
5回	【設備】電気設備			弱電設備の設備図作成			
6回	【設備】電気設備			分電盤の系統図			
7回	【設備】空調設備			ビル用マルチエアコンの系統図及び設計			
8回	【設備】換気設備			シックハウス対策：24時間換気設備　設計			
9回	【構造】構造図作成			オリエンテーション、構造に関するレクチャー（1）、構造図制作(基礎伏図) ①			
10回	【構造】構造図作成			構造図制作（1階床伏図）②			
11回	【構造】構造図作成			構造図制作（小屋伏図）③			
12回	【構造】構造図作成			構造図制作(軸組図) ④			
13回	【構造】壁量計算			構造(壁量計算)に関するレクチャー（2）、レポート課題			
14回	【構造】壁量計算			壁量計算			
15回	【構造】講評			講評、構造に関するレクチャー（3）			